

氏名 真 田 浩

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 甲 第 13 号

学位授与の日付 昭和34年3月31日

学位授与の要件 医学研究科内科系内科学専攻
(学位規則第5条1項該当)

学位論文題目 骨髓の呼吸解糖作用に関する研究

論文審査委員 教授 平 木 潔 教授 小 坂 淳 夫 教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 要 旨

骨髓の呼吸解糖作用は造血機能と密接な関係を有する事が知られているが、著者は白血病骨髓について検索し、更に抗白血病剤の正常骨髓に及ぼす影響をも観察して次の如き結果を報告している。

第1編に於ては骨髓組織培養により診断が確定された各種白血病患者について胸骨穿刺液の呼吸作用を測定し健康人との間に差がある事を認め、更に白血病の種類によっても相違する事を認めている。又白血病患者末梢血赤血球の呼吸値は健康人より低下しているものが多いことを認めている。

第2編に於ては白血病患者胸骨穿刺液の解糖作用について検索し好気性解糖作用は健康人との間に余り差がないが、嫌気性解糖作用は健康人に比し著明に亢進し、急性白血病の方が慢性白血病よりも著しく、単球白血病は両者の中間にあることを認めている。又嫌気性解糖値と呼吸値の割合は健康人骨髓と悪性腫瘍との中間にあり白血病が悪性腫瘍に近い性質をもっていることを認めている。

第3編では各種抗白血病剤の正常家兎骨髓に対する直接効果を呼吸作用の面から検討しナイトロミン、6 M P、プレドニソロンは一定濃度で抑制作用を示し、ACTH は促進作用を示すが、8アザグアニン、マイレラン、カルチノファイリン、アクチノマイシンCは呼吸作用に著しい影響を及ぼさないことを認めている。

論文審査の結果の要旨

真田 浩提出の「骨髓の呼吸解糖作用に関する研究」と題する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

骨髓に於ける代謝の指標である呼吸解糖作用は造血機能と密接な関係を有し、骨髓の病態生理の解明上極めて重要な役割を果すものと考えられる。特に白血病時に於ける骨髓機能の代謝面の研究は悪性腫瘍の本態究明にとっても甚だ重要である。然るに従来この方面についての系統的研究は全然行われていない。

真田 浩は第一編に於て各種白血病患者の胸骨穿刺液について呼吸作用は健康人と相違しているのみでなく白血病の病型、病種によってその態度を異にする新事実を見出し、第二編に於て各種白血病患者胸骨穿刺液の解糖作用について研究を行い、この面からも白血病の各病型、病種で特徴ある値を得、且つ白血病骨髓の代謝が悪性腫瘍と正常骨髓の中間的性格を有すると言う極めて興味ある結果を得ており、更に三編に於ては正常家兎骨髓の組織呼吸に及ぼす各種抗白血病剤の影響について検討している。

以上真田 浩の「骨髓の呼吸解糖作用に関する研究」は、一般に造血造器の悪性腫瘍と見做されている白血病患者の骨髓が代謝の面からは正常と悪性腫瘍との中間的性格を示すと言う白血病の本態論にとって極めて興味ある新知見、更に白血病の病型、病種の間にある一定の差異があることを見出し、且つ各種抗白血病剤の作用機転について骨髓への直接作用と言う面から究明したものであり、本論文の全編を通じて新しい知見に富み学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を充分有するものと認める。